

Enjoy!+α

Arts & Entertainment

ほんの少しの好奇心と最初の一步を踏み出す勇気—
扉の向こうにあなたの知らない素敵な世界が広がります

Meet the Arts! 芸術の秋を楽しもう

アートとの出会いは、私たちの心をととても豊かにしてくれます。芸術とは本来、愛好家だけでなく、多くの人たちが、もっと自由に、気軽に楽しむべきもの。美術館や博物館に展示される極上の美術品や身近に存在する愛すべきユニークなアート作品。すてきな感動を求めて、ぶらりと街に出てみませんか。

滋賀県立近代美術館・常設展示室(写真提供/滋賀県立近代美術館)

club keibun 10
2016 OCTOBER vol.409

CONTENTS

Enjoy!+α Arts & Entertainment	
Meet the Arts! 芸術の秋を楽しもう	01
ミュージアム探訪! 至高の美にふれる	
秋だ! 街に出よう!! アートに出会う旅	
街歩きで楽しむ パブリックアート	
KEIBUN友の会会員特典のご案内	
イベント/シネマ/アート/スポーツ/ ゴルフ/旅行/レジャー/健康/ カルチャー/グルメ	07
プレゼント/Reader's Letters	25



今月の表紙

謎

あなたはわかりますか?
解き×世界遺産

まるで万華鏡のような
聖イサアク大聖堂の天井



サンクト・ペテルブルグ歴史地区と
関連建造物群(ロシア・1990年登録)



聖イサアク大聖堂

帝政ロシアの都として栄えたサンクト・ペテルブルグには、中世ヨーロッパ風の町並みが今でも残っている。歴史的建造物も多く、世界最大規模の聖イサアク大聖堂はそのシンボル。中央のドームの中を仰ぎ見ると、まるで万華鏡を覗いているようで、天井にはカルル・ブリュロフ作「聖母マリアの栄誉」が描かれている。神に捧げられた美しい芸術だ。



Meet the Arts!
 芸術の秋を楽しもう

番外編・奈良

年に一度の邂逅!この秋は見逃せない
第68回 正倉院展

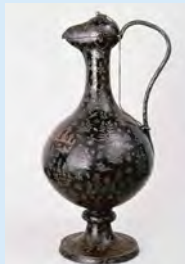
10月22日(土)～11月7日(月)
 奈良国立博物館 東新館・西新館

一般1,100円 高大生700円
 小中生400円

http://www.narahaku.go.jp/



秋の奈良を彩る一大イベント「正倉院展」は毎年大盛況で、平日でも長い行列ができるほど。普段非公開の正倉院宝物の中から、毎年異なる宝物を鑑賞できる貴重な機会です。今年は和同開珎など9件の初公開品のほか、聖武天皇ゆかりの屏風や水差しなど、華やかな宮廷生活を想像させる宝物をはじめ、法会(ほうえ)の場を飾った巨大な幡(ばん)やその脚などの部材、装飾に用いられた金具類がまとまって展示されます。古都・奈良の散策とあわせて訪ねてみてはいかがでしょうか。



漆胡瓶(しっこへい)

01 滋賀県立近代美術館

http://www.shiga-kinbi.jp/

●JR瀬田駅より帝産バス・近江バスで「文化ゾーン前」下車徒歩約5分

02 佐川美術館

http://www.sagawa-artmuseum.or.jp/

●JR守山駅より近江バスで「佐川美術館前」下車

03 MIHO MUSEUM

http://miho.jp/

●JR石山駅より帝産バスで「ミホミュージアム」下車

01 京都国立近代美術館

http://www.momak.go.jp/

●JR京都駅より市バス5号、100号系統で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ

02 京都市美術館

http://www2.city.kyoto.lg.jp/bunshi/kmma/

●JR京都駅より市バス5号、100号系統で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ

03 京都文化博物館

http://www.bunpaku.or.jp/

●京都市営地下鉄「烏丸御池」下車、三条通りを東へ徒歩約3分

ACCESS ※各展覧会の詳細(時間・休館日等)は左記HPでご確認ください。



メアリー・カサット展

9月27日(火)～12月4日(日)

一般1,500円 大学生1,100円 高校生600円 中学生以下無料

01 京都国立近代美術館

印象派を代表するアメリカ出身の女性画家メアリー・カサット(1844～1926)の35年ぶりの回顧展。21歳のときにパリに渡ったカサットは、古典絵画の研究から出発し、エドガー・ドガとの出会いから革新的な絵画表現を模索。軽やかな筆致と明るい色彩で、新しい時代の女性像の表現を展開していきます。特に代表作の「母子像」の名品は高く評価され、パリの画壇に確固たる地位を築きました。本展では、カサットの油彩画やパステル画、版画に加え、交流のあった画家たちの作品などあわせて約110点を展観し、初期から晩年に至る画業の全貌を紹介。愛にあふれるエレガンスなカサットの世界にふれてみませんか。

印象派を代表するアメリカ出身の女性画家メアリー・カサット(1844～1926)の35年ぶりの回顧展。21歳のときにパリに渡ったカサットは、古典絵画の研究から出発し、エドガー・ドガとの出会いから革新的な絵画表現を模索。軽やかな筆致と明るい色彩で、新しい時代の女性像の表現を展開していきます。特に代表作の「母子像」の名品は高く評価され、パリの画壇に確固たる地位を築きました。本展では、カサットの油彩画やパステル画、版画に加え、交流のあった画家たちの作品などあわせて約110点を展観し、初期から晩年に至る画業の全貌を紹介。愛にあふれるエレガンスなカサットの世界にふれてみませんか。



《母の愛撫》1896年頃 油彩、カンヴァス 38.1×54.0cm フィラデルフィア美術館蔵
 Courtesy of the Philadelphia Museum of Art, Bequest of Aaron E. Carpenter, 1970

生誕300年

若冲の京都 KYOTOの若冲

10月4日(火)～12月4日(日)

大人1,200円 高大生1,000円 小中生500円



02 京都市美術館

江戸中期に京で活躍した絵師・伊藤若冲(1716～1800)は、没後200年を契機にメディアに大きくとり上げられ、一大ブームとなりました。若冲は、京都錦小路の青物問屋の長男として生まれ、家業のかたわら狩野派、光琳や中国の元代、明代の画法を学び、40歳で絵画の制作に専念。寛政12(1800)年に没するまで、写生的、装飾的な花鳥画と斬新なタッチの水墨画によって異色の画風を作り上げました。本展は、生誕300年を機に、その独自の世界観、優れた作品の数々が、18世紀の京都だからこそ生まれたことを再確認する、京都と若冲の関わりをひもとく展覧会です。



老松鶴図 個人蔵 ※通期展示

03 京都文化博物館

国立カイロ博物館所蔵

黄金のファラオと大ピラミッド展

10月1日(土)～12月25日(日)

一般1,500円 高大生1,200円 小中生500円



アメンエムオト王の黄金のマスク
 第3中間期 第21王朝(前993～984年頃)
 国立カイロ博物館所蔵

古代ギリシア時代から伝わる「世界の七不思議」の一つ、エジプトの大ピラミッドは未だに多くの謎に包まれています。本展ではエジプトの国立カイロ博物館から出品された、3大黄金マスクの一つ「アメンエムオト王の黄金のマスク」や「クフ王の銘が入った彫像」、美しく壮麗な「彩色木棺」など、監修を務める考古学者吉村作治氏が選抜いた100点あまりの至宝を展示。また、ツタンカーメンの黄金のマスクやギザの大ピラミッド、ルクソール神殿、カルナク神殿などを撮影した高精細4Kシアターも見どころの一つです。ピラミッドとそれを建けた偉大なファラオたちの壮大なドラマに迫ります。

つながる美・引き継ぐ心

—琵琶湖文化館の足跡と新たな美術館—

10月8日(土)～11月23日(水・祝)

前期:10月8日(土)～10月30日(日)／後期:11月1日(火)～11月23日(水・祝)

一般1,100円 高大生800円 小中生600円

01 滋賀県立近代美術館

2008年に休館となった大津市打出浜の琵琶湖文化館の収蔵品は、全国でも有数の質と量を誇ります。これらの収蔵品は、県立近代美術館を再整備し、「美の滋賀」の新たな拠点として平成32年3月に生まれ変わる予定の「新生美術館(仮称)」に引き継がれ、公開される方針です。本展は、琵琶湖文化館が長年守り伝えてきた滋賀の貴重な伝統美術や県内の寺社からお借りした宝物(国宝・重要文化財を含む)をまじえ、これまでの同館の取り組みとこれからの展望を紹介していきます。



国宝 金銀鍍透彫華籠(神照寺) ※全期展示

三蔵法師展 薬師寺の宝物とともに

10月1日(土)～11月27日(日)

一般1,000円 高大生600円 中学生以下無料

02 佐川美術館

ドラマやアニメでもおなじみの『西遊記』は、今から500年以上も前に中国で作られた伝奇小説。主人公の三蔵法師は、私たちにとっては身近な存在の人物で、モデルは中国の高僧・玄奘(げんざう)(664)。唐の都・長安から天竺(てんじく)(インド)まで、お釈迦様の教えを記した経典を求めて旅した実話をもとにした物語です。孫悟空や沙悟浄、猪八戒の仲間たちと、妖怪を退治し天竺まで旅するストーリーは、どこまでが真実だったのか…。この展覧会では、奈良の法相宗大本山薬師寺に伝えられた宝物を手掛かりに、1400年の時を超えて語り継がれる玄奘三蔵の人物像に迫ります。



玄奘三蔵坐像 鎌倉時代 薬師寺蔵 撮影:飛鳥園

ムガール皇帝とマハラジャの宝石

カタール・アル サーニ・コレクション

10月1日(土)～12月11日(日)

一般1,100円 高大生800円 小中生300円

03 MIHO MUSEUM

古来インドは多彩な宝石を豊かに産する国で、16世紀からインドを支配したムガールの皇帝たちは、色とりどりの宝石を黄金や翡翠、水晶の台に象眼した調度品に囲まれ、いくつもの宝石を使った装身具で身を飾りました。やがてヨーロッパ文化が大きく影響し始めると、インド各地のマハラジャはヨーロッパの宝石店にデザインを依頼するようになり、互いの文化が融合した芸術的な宝飾品が生み出されました。本展は、世界最大のブルーダイヤモンド・アイドルズ・アイを始めたとするインド宝石のコレクションから名品を選び、16～20世紀にわたる宝石の歴史とデザインを、時代の嗜好の変化とともに追っていきます。



ランジートシンジー王のターバン飾り
 The Al-Thani Collection © Servette Overseas Ltd. All rights reserved. Photographs taken by Prudence Cuming Associates Ltd.

近江八幡で「BIWAKOビエンナーレ2016」開催中!

近江八幡は、城下町として築かれ、近江商人発祥の地として発展してきた歴史と伝統のあるまち。しかし、江戸期から続く古い町家の多くが活用されないまま放置されているのが現状です。

BIWAKOビエンナーレは、これらの貴重な建物を修繕、清掃して会場として活用し、現代アートの作家たちが絵画、彫刻などを展示することで、空間そのものを新たな作品として表現する「インスタレーション」という試みです。

今回は国内外で活躍するアーティスト62組が結集。テーマ「見果てぬ夢〜Eternal Dream」にめった渾身の作品で、眠っていた古い建物を目覚めさせます。パフォーミング・アートやナイトツアー、シンポジウムなどさまざまなイベントも予定。旧市街地の会場をいくつもの巡りながら、現代アートと建物の絶妙のコラボレーションを楽しんでみてはいかがでしょうか。

国際芸術祭 BIWAKOビエンナーレ2016 見果てぬ夢〜Eternal Dream

開催期間 9月17日(土)～11月6日(日)
時間 10:00～17:00 木曜定休、ただし11/3は開場(祝日の場合は翌日振替休)

入場料(全会場共通)
一般 2,500円 学生(高校生以上) 2,000円 中学生以下、障がい者無料

展示会場 近江八幡旧市街[まちや倶楽部/喜多七右衛門邸/尾賀商店/旧扇吉もろみ倉/カネ吉別邸/旧中村邸/遠久邑(おくむら)八幡堀/村雲御所瑞龍寺門跡/八幡山展望館 他]

お問い合わせ/
BIWAKOビエンナーレ事務局(NPO法人エナジーフィールド)
TEL.0748-36-3766
<http://energyfield.org/biwakobiennale/>

まちなかギャラリー!!「棧敷窓アート」って何?



1:「棧敷窓アート」でにぎわう日野町の通り(写真は中田邸)。
2: 棧敷窓から見る展示風景。作家とのふれあひも楽しい。
3: 滋賀県のココクール・マザー・レイク・セレクションに選ばれた日野碗も展示されている。

写真提供/日野観光協会

日野まちなか歴史散策と秋の棧敷窓アート

開催期間 10月15日(土)・16日(日) 時間 9:30～17:00

会場 日野町大窪から村井・西大路の一帯

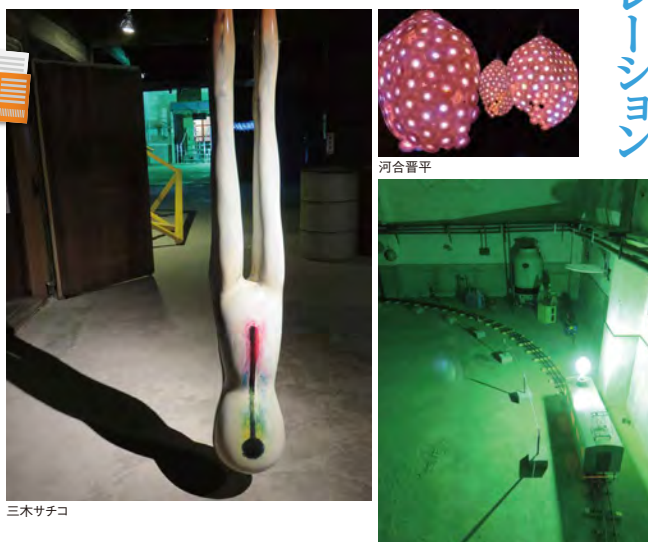
お問い合わせ/日野観光協会 TEL.0748-52-6577

日野の懐かしい町並みと 地元の工芸作家の作品にふれる

豪 華絢爛な神輿や曳山が町内を巡行する日野祭は、800年以上の歴史を誇る馬見岡綿向神社の例祭(毎年5月開催)。座敷に居ながらにしてこの祭を見物するために、全国でも珍しい棧敷窓が家々に設けられています。通りに面した板塀が四角くくりぬかれ、祭の日には窓に御簾を垂らし、絛毛氈をかけて見物席にする仕掛け。年に一度の祭りのためにしつらえられた棧敷窓を利用して、毎年春と秋の2回「棧敷窓アート」が開催されています。

会場となるのは日野町の大窪から村井・西大路にかけての懐かしい風情が残る通りで、棧敷窓をギャラリーに見立て、屋敷の中では地元で活動する工芸作家の作品などを展示・販売。趣のある町並みを散策しながら、日野の豊かな歴史と文化にふれることができます。ちょっと足を延ばして、ここでしか見られない「まちなかギャラリー」を存分に楽しんでみましょう。

魂をゆさぶる現代アートと 空間とのコラボレーション



三木サチコ

河合晋平

市川平

秋だ! 街に出よう!! アートに出合う旅

私たちの近くには小さくても個性的な美術館がたくさんあります。地域色豊かな芸術品にふれられるまたとない機会です。秋には古い町並みや商家、蔵の空間を生かしたアートイベントも予定されています。アートに出合う旅に出かけてみましょう。

気軽に立ち寄ってみたい、隠れ家のような小さな美術館

希少な膳所焼コレクションで

「きれいなさび」の美意識にふれる

京

阪瓦ヶ浜駅を降りてすぐ、茅葺き屋根の門構え、膳所焼美術館がひっそりとあらわれる。膳所焼は江戸時代の初め、大津に置かれた膳所藩の御用窯として始まり、茶入や水指などの茶道具を中心に制作していました。

大名茶人として名高い小堀遠州好みの茶陶を生み出した遠州七窯の一つにも数えられる名窯でしたが、100年足らずで途絶。大正8年、膳所焼の復興を目指した岩崎健三氏が膳所の自宅敷地内に窯を開き、親子2代にわたる研鑽



館長 岩崎世津さん

で甦らせたのが現在の膳所焼です。江戸初期に短期間しか焼成されなかったため、現存する古膳所焼はわずかで一般にはなかなか目にする機会がありません。そこで、岩崎家が収集した貴重なコレクションを公開する場として、1987年に「膳所焼美術館」がオープンしました。

古膳所焼の特徴は暗褐色の鉄釉と優美な形、粒子の細かい良質の土にあります。例えば、古膳所焼の茶入「大宮人」は、肩からごく小さな底へ向かってスッとすばまる胸のシャープな輪郭が、均衡のとれた静かな佇まいを感じさせる。じっくり鑑賞した後、小堀遠州の「きれいなさび」の美意識が反映されていると館長の岩崎世津さんに解説していただいて、焼き物の魅力にぐっと近づけた思いに。

入館者は希望すれば現代の膳所焼の茶器で抹茶がいただけるほか、毎年秋には館蔵品のお茶道具を使って本格的なお茶会を開催するなど、茶の湯にふれられるものもこの美術館の特色の一つ。「楽しいお茶を普及させたい」と考えています。気軽に茶の世界を味わっていただければ」と岩崎さん。

10月16日にはフルート演奏と庭園のお月見とお抹茶を楽しむイベントも開催。茶陶の魅力を見てふれて感じられる小さな美術館を一度訪ねてみませんか?



大津市中庄1丁目22-28 TEL.077-523-1118
10:00～16:00 月曜休館(祝日は開館) ※12/28～1/7は休館
入館料/大人600円、高校生以下500円
抹茶・お菓子500円
<http://zezeyaki.jp/zezemuseum/>

※「膳所焼とバロックの融合」10月16日(日) 16:00～19:00、3,000円、問い合わせはフィガロホール ☎077-522-3106



1: 小堀遠州好みのシャープな造形の古膳所焼機糸目茶入、銘「大宮人」。
2: 1階は滋賀ゆかりの古陶磁器・茶道具など、館蔵品の企画展。
3: 2階には岩崎家が収集した希少な古膳所焼の名品が並ぶ。
4: 毎年秋に茶室「泉新庵」で催されるお茶会には全国から茶人が訪れる。
5: 座敷からは本格的な茅葺きの茶室と明るく端正な庭園が望める。

日常空間がキャンバス! 街歩きで楽しむパブリックアート

パブリックアートとは、広場、公園、道路など公共的空間に設置された芸術作品。日常的な空間の中にあり、美術館・博物館巡りとは違った観点で、不特定多数の人々がアートにふれることができます。滋賀県にある身近なパブリックアートを紹介します。



◀ 国友一貫斎生家前 / 長浜市

星を見つめる少年 茗荷恭介

鉄砲鍛冶で望遠鏡なども製作した国友一貫斎の生家前に設置されたメルヘンチックな少年像。鉄の彫刻家・茗荷恭介(彦根市在住)による銅板造形作品である。



▲ 滋賀県立陶芸の森・星の広場 / 甲賀市

クライムブルー / 栄木正敏

野外展示場にある彫刻「クライムブルー」(高さ2.4m)。クラフトデザイナー・栄木正敏による作品。他にも星の広場にはさまざまな作家の陶芸作品が展示されている。

◀ びわこ文化公園・彫刻の路 / 大津市

夏至の日のランドマーク / 山口牧生

公園内の遊歩道に点在する現代アートの一つ。黒御影石の柱は真南に少し傾き、夏至の日の正午には太陽の方向と一致し、影が消失するという野外ならではの壮大な仕掛け。

▼ 近江鉄道八日市駅前 / 東近江市

新風 / 深田充夫

現代彫刻家・深田充夫(湖南市在住)の設計によるステンレス製のモニュメント(カリヨン)。深田氏の作品は長浜ドームなど県内に多数ある。



▼ 栗東芸術文化会館さくら シンボル広場(外周) / 栗東市

Rhaetulus Speciosus / 佐藤正和重孝



さくら彫刻コンペティション2003大賞受賞作。彫刻家・佐藤正和重孝(受賞当時は佐藤正和)は甲虫をモチーフにした独特のテーマで多くの石彫作品を送り出している。

四番町スクエア ▶ 彦根市

六童子 / 簀内佐斗司

奈良県の公式マスコットキャラクター「せんとかん」の作者である彫刻家・簀内佐斗司の作品。「愛情」「長寿」「招福」「開運」「健康」「金運」の願いを込めた6体がある。



▲ 草津市民センター前 / 草津市

時の旅人 / 鈴木典明

ここは東海道と中山道が交わる地点。過去から現在、そして未来へと人が通い発展していく草津市と、時間の経過を表現している。

Information

第21回 湖国を描く 絵画展

観覧無料

滋賀県内の風景や風俗、祭り、行事など、“湖国”をテーマに描かれた応募作品の中から厳正な審査の結果選ばれた、入賞・入選作品を右記の会場を巡回して展示します。お近くの会場ぜひご鑑賞ください。

【滋賀県立近代美術館(ギャラリー)】 会期中無休
10月4日(火)~10月10日(月・祝) 9:30~17:00

【ビバシティホール】
10月13日(木)~10月20日(木) 10:00~20:00
※ただし、10/18(火)は休館

【しがぎんホール】 会期中無休
10月25日(火)~11月1日(火) 9:00~17:00



グランプリ 西澤裕一郎「信沢商店(龍井)」